

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また未曾有の災禍のなか、日々たいへんご苦労が多いことと存じますが、皆さ
まのご健康と益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

さて、当社は、「社会から信頼される企業であること。清く、正しく、美しく、事業
を行うこと。」を社是とし、創業以来、安心と信頼に基づいた商品・サービスを提供
するとともに、通信販売企業のパイオニアとして、業界の発展に寄与してまいりま
した。近年では、「DMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業戦略」
を掲げ、企業の持続的成長に向けた各種改革および投資を着実に推進し、強固で安
定的な経営・事業基盤を整備してまいりました。

2020年度の経営成績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごも
り消費拡大の影響を受け、主要事業の売上が好調に推移したことに加え、収益力強化
に向けた各種施策の成果により、売上高、利益面ともに過去最高の業績となりました。

このたび、前 代表取締役会長の堀田の退任に伴い、新しい経営体制がスタート
いたします。今後におきましても、当社グループの持続的な成長に向け、いかなる
環境の変化にあっても揺るがない、低重心の経営に努めてまいります。

当社グループは、2021年度からスタートする新たな中期経営計画「Next
Evolution 2023」を策定いたしました。少子高齢化や日本の人口減少による消費
マーケットの縮小、競争の激化といった厳しい経営環境が当社グループを待ち受
けておりますが、「DMC複合通販企業の変容と進化」をテーマに既存事業の進化
と新たなビジネスモデルの構築を推進するとともに、2022年4月に予定されてい
る東京証券取引所の市場区分の見直しにおける「プライム市場」への移行に向け、
コーポレート・ガバナンスの強化にも取り組むことで、DMC複合通販企業戦略の
次なるゴールをめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますよ
うお願い申し上げます。

代表取締役社長

鶴見知久

決算ハイライト 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)

売上高

85,195百万円
(前期比17.3%増)

(単位:百万円)

営業利益

7,385百万円
(前期比244.3%増)

(単位:百万円)

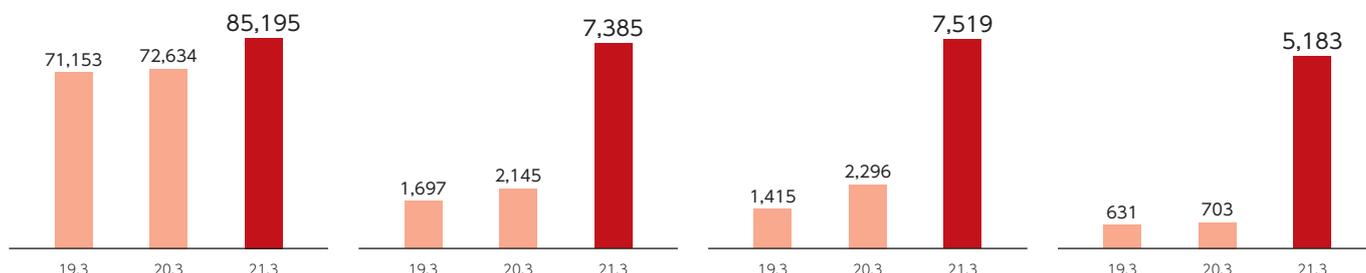
経常利益

7,519百万円
(前期比227.4%増)

(単位:百万円)

親会社株主に帰属する
当期純利益5,183百万円
(前期比636.6%増)

(単位:百万円)



通販事業

「毎日が楽しくなるような商品」を主に生協宅配事業の組合員向けに販売する「通販事業」

- ▶ ホームウェアをはじめとする在宅商品を中心に売上が増加
- ▶ 商品調達方法の見直しや在庫の適正化による原価率の低減を推進
- ▶ 効率的なカタログ配布による販促費の削減を推進



▶ 在宅商品の売上が増加

売上高

42,089 百万円
(前期比18.3%増)

セグメント利益

6,205 百万円
(前期比161.5%増)

- ▶ 「創業祭カタログ」を発行
お客様と開発した商品や、スペシャルプライス商品の展開、QUOカードプレゼントキャンペーンなどを実施。多くのお客様から好評をいただき、売上拡大につながりました。



eコマース事業

「毎日が楽しくなるような商品」をインターネットで販売する「eコマース事業」

- ▶ キャンプやフィッシングなどのアウトドア用品や、インテリア・雑貨などの巣ごもり需要商品の売上が増加
- ▶ 防災用品・備蓄品等の自治体向けの販売事業が拡大

Hilander



▶ アウトドアや巣ごもり関連商品が好調



売上高

22,967 百万円
(前期比22.7%増)

セグメント利益

1,026 百万円
(前期比122.5%増)

▶ テレワークなどの生活スタイルの変化にともなう需要に対応



旅行事業

日帰りバスツアーや海外からの訪日ツアーなど
コトサービスを展開する「旅行事業」

売上高

289 百万円
(前期比58.8%減)

セグメント損失

77 百万円
(前期はセグメント損失117百万円)



ソリューション事業

EC・通販事業者の事業を
発展させるための改善案を行う
「ソリューション事業」

- ▶ 物流代行、決済代行サービスおよびアフィリエイトをはじめとするメディア事業の売上が増加
- ▶ 今後更なる成長が見込まれるEC・通販市場に向け、提供するサービスメニューを拡充
- ▶ 「SLCみらい」の新規顧客獲得に向けた営業活動に注力し、全国通販3PL戦略を推進



▶ スクロールロジスティクスセンター (SLC) みらい

▶ 「後払い.com」に新たな支払方法が追加
通販で注文した商品を受け取った後で、
代金のお支払いができる「後払い.com」
の支払方法に、「FamiPay請求書支払い」
が追加。



コロナ禍の
見学ニーズに対応！



▶ VRシステムで「SLCみらい」を見学
「SLCみらい」の新規顧客獲得に向けた
営業活動の一つとして、VRシステムに
よる倉庫内見学システムを活用してい
ます。

売上高

17,144 百万円
(前期比20.5%増)

セグメント利益

826 百万円
(前期比128.9%増)

健粧品事業

「ちょっといい物語」のある
オリジナルブランド化粧品や
健康食品を販売する「健粧品事業」

- ▶ インターネットを中心とした直接販売を強化し、顧客基盤の構築に注力
- ▶ コロナ禍における生活スタイルの変化に対応した新製品を開発



▶ コロナ禍における生活スタイルの変化に対応
アルコール消毒による手荒れをケアする高保
湿クリームや、手指を清潔に保つハンド
ウォッシュミストなどを開発。

大豆 豆腐の盛田屋



▶ 「新・自然生活」誕生
メインブランド「自然生活」を2021年
3月に全面リニューアル。

売上高

2,695 百万円
(前期比20.6%減)

セグメント損失

530 百万円
(前期はセグメント損失1,122百万円)

グループ管轄事業

物流を中心にスクロールグループの
インフラを支える「グループ管轄事業」

売上高

8 百万円
(前期比7.9%減)

セグメント利益

94 百万円
(前期比50.5%減)

※内部取引を含めた売上高は3,323百万円(前期比27.1%増)



中期経営計画 「Next Evolution 2023」

スクロールグループは、2021年度～2023年度の新たな中期経営計画「Next Evolution 2023」をスタートします。

2020年度は、巣ごもり需要の拡大および収益力の強化の推進により、過去最高の決算となりました。今後の経営環境は、日本の人口減少等による消費マーケットの低迷・縮小や、企業間競争の激化などにより、非常に厳しい時代(流通暗黒時代)となると想定しています。

今回の中期経営計画は、「DMC複合通販企業の変容と進化」をテーマに掲げ、厳しい環境下でも成長を実現するための計画としております。

～To the Next Goal～ DMC複合通販企業の変容と進化

2021年度

来たる流通暗黒時代に備え、
ビジネスモデルの変容と進化を図る

- 新たなビジネスモデルへの着手・推進
- ビジネスインフラ(システム・物流等)の強化
- コーポレート・ガバナンスの強化・体制整備

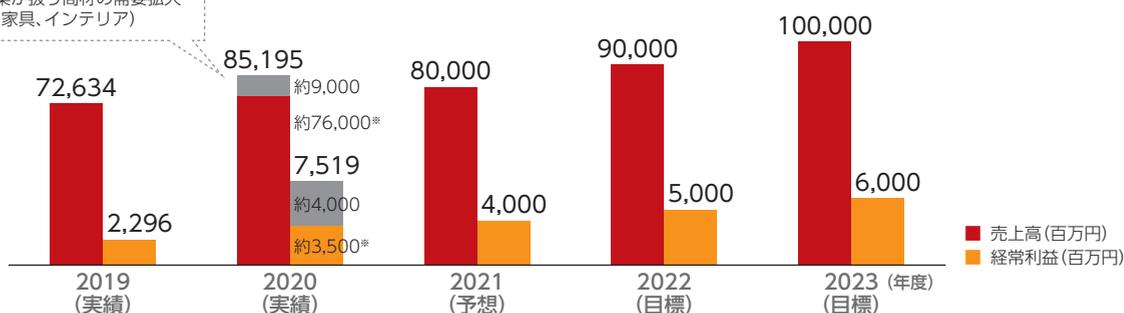
2022～23年度

DMC複合通販企業の次なるゴールに向けた
事業進化を加速する

■ コロナ影響による増収

- ・在宅率増加による顧客との接点増加
- ・ソリューション事業における既存クライアントの物量増加
- ・eコマース事業が扱う商材の需要拡大(アウトドア、家具、インテリア)

※コロナ影響を除いた試算数値



※詳細につきましては、企業ホームページに掲載の「2021年3月期 決算説明会資料」(2021.5.7公開)をご覧ください。

よく出てくる言葉を解説します！

Q 「DMC」って何ですか？

A DMCとは、「Direct Marketing Conglomerate」の略で、変化が激しい小売業のなかで企業として生き残るために辿り着いたグループの姿を表しています。

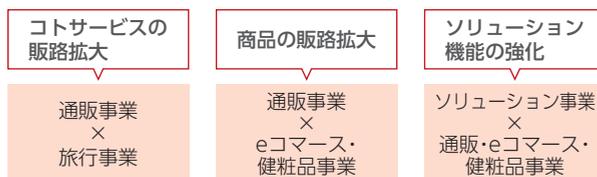
当社グループは、ダイレクトマーケティングを基軸とした複数の事業体で構成されたDMC複合通販企業体であり、さまざまな提供価値やビジネスモデルなどを有していることが特徴です。

これまで培った知見やノウハウを通じて事業同士が有機的につながり、グループシナジーを創り出す仕組みを備えた企業体となっています。

Q 「グループシナジー」って何ですか？

A グループシナジーとは、各企業が有するノウハウやケイパビリティがグループに蓄積・共有された結果、グループとしての新たな提供価値の創造、マーケット環境や顧客ニーズの変化への対応力の強化、新たにグループ入りした企業成長の加速などが生まれることを指しています。

ダイレクトマーケティングという共通の基軸を有するDMC複合通販企業体である当社グループだからこそ、このようなシナジーを発揮することができています。



グループ内でさまざまなシナジーが生まれています。

株主還元方針

利益配分について／当期・次期の配当

■基本方針

- ・株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。
- ・年間配当金15円を下限とし、連結配当性向40%を基本として実施いたします。

■当期の配当

当期末の株主配当金は、1株当たり52.5円とさせていただきます。これにより、中間配当金7.5円と合わせて年間配当金は60円となります。

■次期の配当に関する基本方針

当社は、株主の皆さまへの利益還元の更なる充実を図るため、次期の配当に関する基本方針については、年間配当金の下限を引き上げ、「年間配当金20円を下限とし、連結配当性向40%を基本として実施する」ことに変更いたします。
配当予想につきましては、1株当たり配当額を下限である年間配当金20円(中間配当金10円、期末配当金10円)といたしますが、通期の業績を明確に見通せる段階になった時点で、改めて、配当予想の開示を行ったうえで、連結配当性向40%の基本方針に則り実施いたします。

株価・出来高の推移

2018年4月～2021年3月



株主優待について

株主の皆さまに「株主優待券」を進呈しております。

株主優待サイトや、株主優待券と一緒にご案内するパンフレット、もしくは当社グループの対象各社の公式ショッピングサイトに掲載された商品をお買い求めいただく際に、割引券としてご利用いただけます。



《ご保有の株数に対して進呈する株主優待券》

保有株式数	株主優待券額
100株以上 1,000株未満	500円分
1,000株以上10,000株未満	2,500円分
10,000株以上	5,000円分

※株主優待券は、券に記載の有効期限までにご利用ください。

《長期保有株主優待制度のご案内》

長期保有株主優待制度(毎年9月30日を基準日として年1回実施)

保有株式数	1年継続保有	2年継続保有	3年以上継続保有
100株以上 1,000株未満	500円分	1,000円分	1,500円分
1,000株以上10,000株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
10,000株以上	1,500円分	3,000円分	6,000円分

※継続保有の対象となる株主さまは、毎年3月31日および9月30日の当社株主名簿に同一株主番号で連続して次の回数を記録されている方です。
1年継続保有:3回または4回
2年継続保有:5回または6回
3年以上継続保有:7回以上

株主優待のおすすめ商品

株主優待を使って、「防災生活」始めませんか？

「アウトドアと防災は通じるところがある」という考えのもと、ナチュラムでは、災害時にも使えるアウトドア商品を販売しています。

「防災準備」と考えると堅苦しく、また普段の生活の邪魔になってしまうこともあるため、普段のレジャーや暮らしにも取り入れられ、いざという時にも役に立つアイテムを、おすすめします。

株主優待を使って、日常生活を「防災生活」に変えてみませんか？

ナチュラムでは、防災グッズ選びのヒントなど、防災に役立つ情報を「アウトドア防災」ページに掲載しています。



「アウトドア防災」は、こちらから！

株主優待券は、当社グループ各社が運営するオフィシャル通販サイトのポイントに交換することができます。お申し込みに関する詳細は、6月上旬に送付いたします株主優待ガイドをご覧ください。



防災士の資格を持ったナチュラムの社員がセレクト！防災用品のなかでも、特に重要とされている「水」と「トイレ」のおすすめ商品をご紹介します。

赤ちゃんのミルクをつくる時にも使える安心・安全なお水です！



購入は、こちらから！

10年保存水(蒸留水) 2L×6本セット
¥2,592(税込)

製造から10年間の保存ができる、純度99.9%の10年保存水。徹底した蒸留を行うことで、雑菌が繁殖するのを抑え、長期の保存を可能にしています。

もしもの時の簡易トイレに！



購入は、こちらから！

PATATTO350 PLUS(パタット350 プラス)
¥5,280(税込)

「椅子」にも「ゴミ箱」にも「簡易トイレ」にもなる便利アイテム。座面が湾曲しているため、身体にフィットして、座り心地も良く、耐荷重も100kgあり、安定感も抜群です。

株式・会社の概況

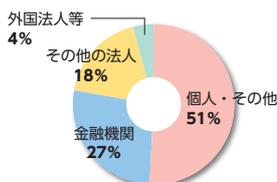
株式の状況

2021年3月31日現在

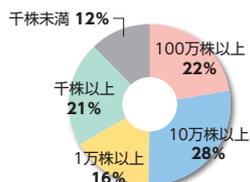
株式の状況

1.発行可能株式の総数	110,000,000株
2.発行済株式の総数	34,873,050株
3.1単元の株式数	100株
4.株主数	34,371名
5.単元株主数	32,081名
6.単元株式数	34,838,800株

〈所有者別株式分布状況〉



〈所有株数別株式分布状況〉



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
丸紅株式会社	2,841	8.15
スクロール取引先持株会	2,029	5.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,613	4.63
株式会社静岡銀行	1,261	3.62
スクロール従業員持株会	837	2.40
日本生命保険相互会社	543	1.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	474	1.36
モリリン株式会社	434	1.25
大日本印刷株式会社	433	1.24
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	431	1.24

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

会社の概況

2021年5月28日現在

商号	株式会社スクロール(Scroll Corporation)
設立	1943年10月1日
資本金	6,018,551,595円
本社	静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号 電話 053-464-1111(代表)
東京本店	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー25階・26階 電話 03-5962-0500(代表)
支店・事務所	大阪支店・福岡支店・札幌支店・ジャカルタ事務所・ ダッカ事務所
物流センター	スクロールロジスティクスセンター浜松西 スクロールロジスティクスセンター磐田 スクロールロジスティクスセンターみらい
従業員数	331名(2021年3月31日現在)
グループ従業員総数	866名(2021年3月31日現在)
主な事業内容	アパレル、雑貨、化粧品・健康食品、旅行等の通信 販売事業およびEC・通販事業者へのソリューション事業
主要な子会社	詩克楽商貿(上海)有限公司 (株)スクロール360 (株)キャッチボール (株)もしも 成都音和娜網絡服務有限公司 (株)AXES (株)スクロールR&D (株)ナチュラム (株)ミヨシ (株)豆腐の盛田屋 北海道アンソロポロジー(株) (株)ナチュラピュリアファイ研究所 (株)キナリ (株)トラベックスツアーズ (株)スクロールロジスティクス

役員一覧

2021年5月28日現在

取締役

代表取締役社長	鶴見知久
取締役副社長執行役員	佐藤浩明
取締役執行役員	小山優雄
取締役執行役員	山崎正之
取締役執行役員	杉本泰宣
取締役執行役員	池田訓清
取締役執行役員	勝田圭三
取締役(社外) ※監査等委員	村瀬司
取締役(社外) ※監査等委員	宮部貴之
取締役(社外) ※監査等委員	鈴木一雄
取締役(社外) ※監査等委員	宮城政憲

執行役員

執行役員	西田耕三
執行役員	北嶋敬二
執行役員	大下公宝
執行役員	音羽裕之
執行役員	馬淵雅美
執行役員	伊熊忍
執行役員	秋元亮
執行役員	山下政彦
執行役員	實藤裕史
執行役員	三好尚志

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	事業年度終了から3ヵ月以内に開催いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 市場第一部 電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.scroll.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた際には、日本経済新聞に公告いたします。

株式会社 スクロール

〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号
TEL 053-464-1111 FAX 053-464-0883
証券・銘柄コード 8005

企業ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR・決算
情報をはじめ、トピックスやCSR
活動など最新の情報を掲載して
おりますので、ぜひご覧ください。

スクロール

検索

<https://www.scroll.jp/>

